第 8 回標準化部会会合

日時：4 月 15 日(月) 14:00 から

場所：小金井 3 号館 5F 会議室

議題：

1. 新レポート草案 SM.[275-450GHZ_SHARING]について

① 我が国はこれまで FS 特定周波数帯と LMS 特定周波数帯は異なる立場を取っており、CPM レポートの Method F に対応できるように、今回もそれぞれの特定可能周波数帯（特別な条件を課さない）を結果概要(Study 4)に含めることにする。

FS applications: 275-296 GHz, 306-313 GHz, 318-336 GHz, 348-450 GHz

LMS applications: 275-296 GHz, 306-313 GHz, 319-332 GHz, 356-450 GHz

② 下記の表を検討結果概要に追加する。ただし、特別な条件を課さない場合である。

TABLE 17

Summary of the study results

Study	**Application Service**	**Proposed Bands for FS/LMS *(where no specific conditions to protect EESS are necessary)***			
		Band 1 (GHz)	**Band 2 (GHz)**	**Band 3 (GHz)**	**Band 4 (GHz)**
2	FS & LMS	275-296	306-313	318-333	356-450
3	FS & LMS	275-296	306-313	320-330	356-450
4	FS & LMS	275-296	306-313	319-332	356-450
5	FS & LMS	275-296	306-313	318-333	356-450

③ FS/LMS 特定周波数帯として各 Study の調和を図るために、Study 2 と Study 5 の Band 3 を採用することを提案。

FS/LMS applications: 275-296 GHz, 306-313 GHz, 318-333 GHz, 356-450 GHz;

2. Report ITU-R SM.2352 の改定について

WRC-19 議題 1.15 が成立する前の 2015 年 6 月に発行された「275-3000 GHz 周波数範囲における能動業務の技術動向」は既に 4 年が経過し、その後の THz 技術の進展、さらには WRC-19 議題 1.15 の結果によっては規則等が変更される可能性等を考慮して内容の更新を行う。

3. APG19-5 に向けて

上記 WP1A 会合によるレポートの完成を踏まえた暫定 APT 共通提案(PAPC)には、RR 改定案として新脚注追加案を提出する予定。

4. その他

次回：